



望洋荘便り



第 5 号
平成 16 年
4 月発行

望洋荘に住む人たちを考える（その2）

社会福祉法人 りんさく福祉会

理事長 須田 滉

望洋荘の周りの桜は今年も綺麗に咲き誇りました。今回は『中核症状』についてお話をさせていただきました。今回は『周辺症状』について述べたいと思います。

『周辺症状』とは、人が高齢化する中で生じてくる中核症状に様々な要因が働き、そのために発生する症状です。いうならば造られた症状と言ってもよいでしょう。この周辺症状の多くは精神症状です。不安、焦燥、抑鬱（よくうつ）、不機嫌、いらだち、興奮、攻撃性、幻覚、妄想があらわれます。さらにこれらが行動化されると、徘徊、異食、過食、拒食、引きこもりなどの機能不全行動が発現いたします。このような精神症状や機能不全行動を適切なケアなく放置してしまいますと、破局反応が現れ、パニック症状に陥ります。不穏になり、せん妄、大声、乱暴、破壊的行動、自傷的行動等につながってしまいます。これら周辺症状を生み出す誘因としては、身体的要因、心理社会的要因、環境的要因が考えられます。

ここまで『中核症状』『周辺症状』についてお話をしてきました。このような症状を十分に理解した上で、痴呆の方々にどのように対応したらよろしいのか。また、望洋荘という施設においてどのように対応すべきなのでしょうか。

まずは、痴呆という病気の十分な理解が必要です。そして、それに伴って生ずる生活の障害等々を正しく認識して、職員が対応にあたることが重要です。個々の方々の生活史や物理的空間や体調さらには服用している薬等にも充分なる知識を有し、各人に接することが大切になってまいります。特に望洋荘において、一番重視をしております点は環境の充実であります。ひとたび、個室に戻れば、慣れ親しんだ我が家に帰

ってきたと思える雰囲気づくりに心がけねばなりません。

介護にあたる職員一同、これらを理解し、人が社会性を持つて生きていく環境作りに、現在邁進中でございます。リラックスでき、ほんのりとした幸福感に包まれ、能力の範囲内で自立できる時間が持てるような環境作りに意を用いております。そして、豊かな暮らしとはどのようなものであるかという本質に近づくために、一層の努力を重ねてまいりますので、ご支援の程をお願い申し上げます。まだまだ開設したばかりですので、いろいろとお気づきの点が多々あるかと存じます。いろいろと指摘いただければと思っております。より素晴らしい施設づくりのために皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

今月の花 『さくら』



三春滝桜（みはるたきざくら）

日本を代表する桜の巨木で、日本三大桜の一つといわれており、岐阜県の淡墨桜とともに東西の横綱に位置づけられています。樹高は12m、根回りは11m、枝張りは幹から北へ4.6m、東へ10.7m、南へ13.9m、西へ14.5mの巨木です。開花期の4月中・下旬、四方に伸びた太い枝から、薄紅の滝がほとぼしるかのよう小さな花を無数に咲かせ、その様はまさに滝が流れ落ちるのように見えることから、古来滝桜とよばれるようになったといわれています。植物学者の推定から、樹齢1,000年以上というのが妥当なようです。

今は昔 第2話

戦争（一九四一～一九四五年）

二十一才で兵隊検査を受けた。甲種、乙種、丙種とランクがあったが、俺は第一種乙種で、甲種に准ずるものだった。兵隊の位は、2等兵↓1等兵↓上等兵↓兵長↓伍長↓軍曹。もともと上りの位はあるが、俺は軍曹までだった。二十二才の時、陸軍に配属されて、南方へ行く予定だったが、何故か北支那へ。俺の軍は衣支団といった。仙台から満州へ、そして北支那へと。北支那に泰山という山があって、半日がかりで登った。ことわざに『泰山鳴動ねずみ一匹』というのがあるが、その泰山だ。

戦いで一番恐かったのは、斥候といって夜間敵地へ探りに行く事だったな。五人で行くのだけどね。

昭和二十年になって、本土防衛の為に、日本に帰ることになった。朝鮮まで来たら何故か足止めを食った。そしたら日本が負けてた。北朝鮮からウラジオストクへ送られた。そこからスーチャンへ行かされ、その炭鉱で炭掘りの労働に就き、二年くらい居たかなあ、石炭の層は厚く、十尺くらいあって、いい炭だったよ。最後はナホトカから舞鶴へやっと日本の土が踏めた。涙がでたよ。

若かったからガムシヤラに戦ってきたけど戦争はむごい。なにも良いことは生まれぬ絶対やるべきではないなあ。

『望洋荘 勿来通り二丁目―3』 加藤光紀さんより聴き取りました。



伍長時代の加藤氏の写真



現在も、昔と変わらず凛々しい姿です

さこみちよショー 3月8日

歌手の『さこみちよ』さんがご主人の落語家『立川ぜん馬』師匠と来荘、コンサートを開いてくださいました。ほんものに触れる事の少ない利用者は目を光らせて、一生懸命歌ってくださいている姿に涙し、間合にご主人とかけあい漫才のような会話もあり、楽しいひとときでした。



さこ みちよさんの新曲

【燕になりたい】が5月発売予定です。ご希望の方は、店頭もしくは『望洋荘』までお問合せください。

『スローダウン 老化スピード』

須田 湊

「アレハドコ」「イマナンジ」「アナタダアレ」等の会話を繰り返す痴呆症状を呈するご老人をみかけます。現代の医学をもってしても、今のところこの老人性痴呆を完治させる方策はありません。もししたら心身共に健全に老いることが出来るのでしょうか。

医師になって三十七年。多くの方々の「いのち」と向き合い、いろいろのことを教わってきました。だが医療の場で長くつき合ってきた方々の老化を如何に遅らせるかについては悩むところです。古来から不老不死は人間の大きな願望であり、時の権力者が不老長寿の薬等を追い求めたのも、むべなるかなであります。誠に残念ながら今日まで、発見も開発もなされていないのですから。

もししたら良いのでしょうか。古今東西、様々な健康法が流布していますが、適度な運動に勝るものはないようです。考えてみてください。人間が劇的な成長を遂げるのは生まれてから二歳ころまでです。直立歩行と歯の出現によります。直立歩行を何時までも可能にすべく運動の必要性が説かれるところでもあります。また、十分なる栄養摂取の為に健康な歯が大切なの言うまでもありません。8020運動（80歳まで自分の歯を20本残す）が叫ばれているのはもったもなことです。運動には血液の循環を促し、脳神経の働きを高め、ストレスを解消して動脈硬化の進展を遅らせる効果があります。逆に運動不足は動脈硬化や痴呆を促進します。適度な運動を継続して、「ストップザ老化」は無理としても、「スローダウン 老化スピード」に努めてください。

家の中にこもっているご高齢の方々、思いきって家族と共に、またはホームヘルパーに付き添われて向こう三軒両隣り近辺を散策してください。歩く運動に、話す、笑う、眺める、手指を使う動作が加わると大脳皮質が広範囲に且つ効率よく活性化が図られますので。

医者の目―福島民報（健康欄への寄稿文から）



《受賞歴》

昭和58年度
NHK新人落語コンクール
最優秀賞受賞

昭和59年
国立演芸場花形若手落語会
金賞受賞

昭和60年1月
第五回
国立演芸場花形若手落語会
金賞銀賞の集い大賞受賞

昭和63年度
につかん飛切落語会
若手落語家奨励賞受賞

平成元年度
につかん飛切落語会
若手落語家奨励賞受賞

平成8年
「文化庁主催第51回芸術祭」
優秀賞受賞
『二番煎じ』『時そば』

昭和52年1月
春風亭柳昇門下となる
昭和55年2月
二ツ目昇進
春風亭愛橋となる
平成2月5月
真打昇進
春風亭鯉昇となる

『第八十六回いわき寄席』のご案内

春風亭 鯉昇師匠 独演会

日 時 平成16年5月25日（火）

開演時間 午後6時30分 入場無料

場 所 いわき市文化センター

主 催 須田 医院

ご家族、お友達お誘い合せの上おいで下さい。



車椅子贈呈式 平成16年3月8日

日本生命保険相互会社 郡山支社
労働組合 郡山分会様より
『車椅子一台ご寄贈』

お年寄りの足である車椅子を頂きありがとうございました。

今後、入居者、職員一同、大切に利用させて頂きます。

『車椅子』ご寄贈ありがとうございます

介護老人福祉施設 『望洋荘』
職員紹介⑤&コメント集



介護士 吉田 和幸

この仕事を始めて1ヶ月が経ちました。利用者様やスタッフの皆様から、教わる事が多く今は、勉強の毎日です。この太平洋を見渡しながらか仕事が出来るという事はとても素晴らしい事だと思います。

これから仕事していく上で、利用者様に対して生活を共にするパートナーとして、少しでも役立って行きたいと思っております。



介護士 坂本 直美

私の曾祖母は、昔病院に入院していました。暴言暴力が多く問題のある患者だったそうです。介護職員となった今、きっかけを作ってくれた曾祖母に感謝し、利用者の方と毎日を楽しく充実した生活が送れるよう、多くの経験を重ねながら頑張っていきたいです。



介護士 若松 未明

私は仙台の専門学校で2年間、福祉の勉強をし、実習やボランティアにより多少の経験を積んで来ました。この2年間の学習を一つたりとも無駄にしないように、この望洋荘に全ての力をぶつけて行こうと考えています。

しかも学校では学べない事を現場ではたくさん学べると共に、その学んだ事を、プラス（自分の力）にしながら日々成長して行きたいです。

最後に、私はこの望洋荘で利用者の方々に真心込めた心地良いサービスと利用者の方々個人個人がもつ生活の最良な援助を提供して行けるように頑張っていきたいと思っております。

今月の言葉その④（倫理研究所編標語集から）

ほがらかな挨拶は
生活の潤滑油

他人行儀な挨拶なんてよせやい、と思うだろうが、これがどうして、やってみればはじめがつく、元気が出る、仲良くなる。「たかが挨拶、されど挨拶」なのである。

介護保険一ロメモ ⑤

訪問介護（ホームヘルパー）

要支援・介護高齢者の家族を訪問し、入浴・排泄・食事など身体介護、家事・洗濯・買い物などの生活援助、生活や介護などの相談・助言のサービスを提供します。

ホームヘルパーは、心身ともに健康で、福祉に理解と熱意を有し、家事、介護及び相談助言の能力が求められます。在宅生活を支援するサービスとして重要です。

訪問看護

病院、診療所や老人訪問看護ステーションの看護師などが医師の指示により通院困難で在宅で生活されている患者さん宅を訪問し、療養上の世話又は必要な介護サービスを提供します。

編集後記

『望洋荘』便り

平成十六年四月一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373

FAX (0246) 55-7255